

茨城県内主要企業の 経営動向調査結果

2023年7～9月期

本調査は、茨城県内企業の経営動向を明らかにするため、四半期毎にアンケート方式(記名式)により実施しているものです。

- 調査項目／景況、生産・売上、在庫、収益、設備投資、資金繰り等
- 対象期間／2023年7～9月実績、2023年10～12月予測
- 対象企業／県内主要企業473社
うち、回答社数217社(製造業93社、非製造業124社)

〈2023年10月〉

目 次

| | |
|--------------------------------|----|
| 1. 概況 | 1 |
| 2. 自社業況 | 2 |
| 3. 地域別の動向 | 3 |
| 4. 国内景気の動向 | 3 |
| 5. 企業経営 | 4 |
| (1) 売上・出荷動向 | 4 |
| (2) 生産高、受注高 | 5 |
| (3) 在庫水準 | 5 |
| (4) 仕入・販売価格 | 6 |
| (5) 経常利益 | 7 |
| (6) 経営上の問題点 | 8 |
| 6. 設備投資 | 9 |
| (1) 2023年4～9月期の実績 | 9 |
| (2) 2023年10月～2024年3月期の計画 | 9 |
| 7. 雇用 | 10 |
| 8. 企業金融 | 10 |
| (1) 資金繰り状況 | 10 |
| (2) 資金繰り上の問題点 | 11 |
| (3) 資金調達 | 11 |
| 業種・規模別回答社数 | 12 |

※(1) DIはDiffusion Indexの略。このレポートでは「好転・増加・過剰・上昇」割合から、「悪化・減少・不足・低下」割合をマイナスした数値をあらわす。

(2) DIの単位は%ポイント。但し、本紙上では、便宜的にDIの単位を「%」、DIの変化幅を「ポイント (pt)」と表記する。

1. 概況 自社業況総合判断 DI は全産業で 4 期振りに悪化

— 海外経済の減速や物価高などが景況感を下押し

今回調査の概要

県内企業の景況感を表す自社業況総合判断 DI は、全産業ベースで「悪化」超 11.7% と前期（2023 年 4～6 月期）調査の同 3.3% から 8 ポイント（以下、pt）低下した。景況感の悪化は、2022 年 7～9 月期以来、4 期振り（1 年振り）となる。

業種別にみると、製造業は「悪化」超 14.3% と、前期から 7pt 低下した。海外経済の減速、半導体等の供給制約の残存等から、生産・受注が落ち込んだことなどが要因とみられる。

非製造業は「悪化」超 9.8% と、前期から 10p 低下した。物価の上昇・高止まりを背景とした企業収益の悪化や消費マインドの低下、また、経済活動の正常化が進む中での人手不足の深刻化などが、景況感の下押し材料となったものと推測される。

次期（2023 年 10～12 月期）の自社業況総合判断 DI は、全産業で「悪化」超 10.5% と今期から概ね横ばいの見通し。業種別にみると、製造業が同 10.1% と 4pt 上昇、非製造業が同 10.7% と横ばいの見込みとなっている。

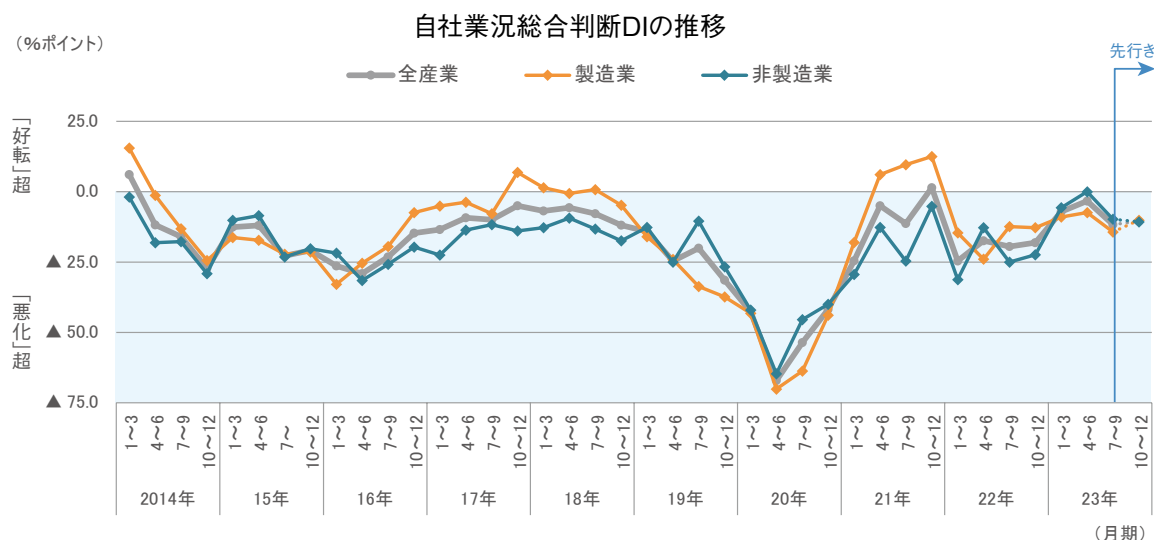
10～12 月期は、半導体等の供給制約の緩和、大型観光振興策の実施といった追い風が吹くと期待される一方、物価の上昇・高止まりによる企業収益の悪化や消費マインドの低下、人手不足によるサービス等の供給制約、新型コロナやインフルエンザ等の感染症の拡大などが、景況感を下押しする懸念がある。先行きは、海外経済・為替市場等の動向、各種感染症の動向、これらを反映した物価やサプライチェーンの動向、経営環境の変化に対する県内企業の対応状況などを注視する必要がある。

自社業況総合判断 DI の推移

(前年同期比・%ポイント)

| | 2022 | | 2023 | | | | |
|------|--------|---------|-------|-------|--------|-------|-----------|
| | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 前回予測 | 10～12月期予測 |
| 全産業 | ▲ 19.5 | ▲ 18.1 | ▲ 7.1 | ▲ 3.3 | ▲ 11.7 | ▲ 0.9 | ▲ 10.5 |
| 製造業 | ▲ 12.4 | ▲ 12.8 | ▲ 9.0 | ▲ 7.4 | ▲ 14.3 | ▲ 1.1 | ▲ 10.1 |
| 非製造業 | ▲ 25.0 | ▲ 22.4 | ▲ 5.7 | 0.0 | ▲ 9.8 | ▲ 0.8 | ▲ 10.7 |

※自社業況総合判断 DI = 「好転」回答企業割合 - 「悪化」回答企業割合



2. 自社業況 — 製造業で 7pt 低下、非製造業で 10pt 低下

自社業況総合判断 DI は、全産業で「悪化」超 11.7%と、前期（2023 年 4～6 月期）調査の同 3.3%から 8pt 低下した。

業種別にみると、製造業は「悪化」超 14.3%と前期から 7pt 低下した。企業からは、「中国景気の低迷を受け、建機部品の売上が減少している」（はん用機械）、「急激な円安、欧米の景気減速懸念等で業績が不安定」（化学）といった声が多く聞かれ、海外経済の減速が景況感の下押し要因の一つとなったとみられる。また、「自動車メーカーからの部品受注が回復しつつある」（輸送用機械）といった声の一方、「半導体不足によって生じた過剰在庫の調整が想定以上に長引いている」（その他）と言った声もあり、一部の企業で供給制約の影響が残存していたことも、マイナスに寄与したと考えられる。

非製造業は「悪化」超 9.8%と前期から 10pt 低下した。企業からは、物価の上昇・高止まりを背景に、「燃料価格の高騰が続き業績に響いている」（運送業）など収益が悪化したとの声や、「来店客数が減少し、生活費の上昇に伴う消費意欲の減退を確信している」（衣料品小売）、「猛暑で季節商品は好調だったが、購買意欲は低い」（家電小売）などモノの消費マインドが低下したとの声が聞かれた。また、「人員減のため一部店舗で店休日を設けた」（飲食）、「従業員が足りず予約を制限した」（娯楽施設）との声もあり、サービス業を中心に、経済活動の正常化が進む中での人手不足の深刻化が課題となっている様子がうかがえる。

先行き（2023 年 10～12 月期）は、全産業で「悪化」超 10.5%と今期から概ね横ばい、業種別では、製造業が 4pt 上昇、非製造業が横ばいの見通しである。次期は、供給制約の緩和、大型観光振興策の実施などが期待される一方、物価の上昇・高止まりによる企業収益悪化や消費マインド低下、人手不足の深刻化、感染症の拡大などが、景況感を下押しする懸念がある。先行きは、海外経済・為替市場等の動向、各種感染症の動向、これらを反映した物価やサプライチェーンの動向、県内企業の対応状況などを注視する必要がある。

自社業況総合判断 DI の推移

（前年同期比・%ポイント）

| | 2022 | | | 2023 | | | |
|--------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-----------|
| | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期予測 |
| 全産業 | ▲17.4 | ▲19.5 | ▲18.1 | ▲7.1 | ▲3.3 | ▲11.7 | ▲10.5 |
| 製造業 | ▲24.0 | ▲12.4 | ▲12.8 | ▲9.0 | ▲7.4 | ▲14.3 | ▲10.1 |
| 素材業種 | 7.2 | ▲33.3 | ▲55.6 | ▲12.5 | 0.0 | ▲71.4 | ▲57.1 |
| 加工業種 | ▲31.3 | ▲6.9 | ▲8.3 | ▲10.9 | ▲6.4 | ▲17.4 | ▲15.5 |
| その他業種 | ▲26.5 | ▲13.9 | ▲8.1 | ▲6.5 | ▲10.5 | 0.0 | 5.4 |
| 非製造業 | ▲12.8 | ▲25.0 | ▲22.4 | ▲5.7 | 0.0 | ▲9.8 | ▲10.7 |
| 建設業 | ▲31.2 | ▲38.5 | ▲28.6 | ▲17.3 | ▲3.5 | 0.0 | ▲11.1 |
| 卸売業 | ▲12.0 | ▲37.5 | ▲36.4 | ▲11.1 | ▲27.8 | ▲16.6 | ▲27.8 |
| 小売業 | ▲27.3 | ▲16.6 | ▲41.2 | ▲4.0 | 0.0 | ▲18.2 | ▲9.1 |
| 運輸・倉庫業 | 0.0 | ▲9.1 | ▲9.1 | 0.0 | 10.0 | ▲54.5 | ▲45.4 |
| その他業種 | 2.0 | ▲17.0 | ▲7.0 | 2.4 | 12.5 | 2.3 | 4.7 |

※自社業況総合判断 DI：「好転」回答企業割合－「悪化」回答企業割合

企業規模別自社業況総合判断 DI の推移

（前年同期比・%ポイント）

| 従業員数 | 2022 | | | 2023 | | | |
|----------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-----------|
| | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期予測 |
| 30人未満 | ▲28.2 | ▲45.5 | ▲23.5 | ▲10.5 | ▲14.5 | ▲16.5 | ▲13.6 |
| 30～99人 | ▲13.7 | ▲15.2 | ▲17.9 | ▲16.0 | ▲1.2 | ▲14.2 | ▲15.4 |
| 100～299人 | ▲19.5 | ▲2.7 | ▲14.7 | ▲2.4 | ▲2.5 | ▲18.0 | ▲18.4 |
| 300人以上 | 0.0 | 7.7 | ▲10.0 | 17.2 | 19.3 | 13.8 | 21.4 |

3. 地域別の動向 — 県央・県北のみ全産業で上昇、その他は低下

〈県北・県央地域〉

全産業の自社業況総合判断 DI は、「悪化」超 1.8%と前期比 4pt 上昇した。業種別にみると、製造業は「悪化」超 2.2%と同 10pt 上昇し、非製造業は「悪化」超 1.5%と横ばいだった。

〈県南地域〉

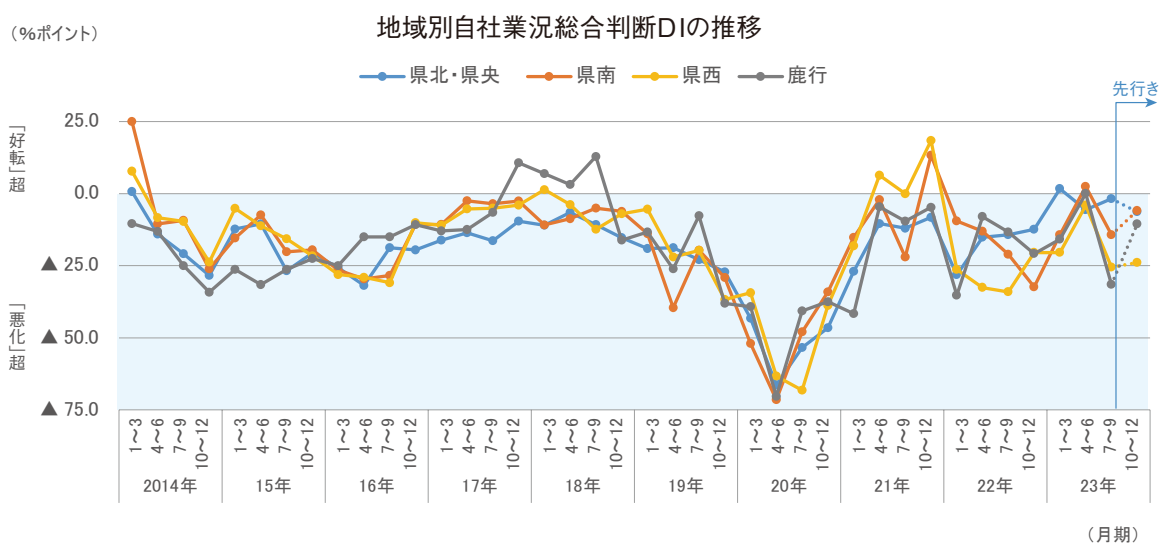
全産業の自社業況総合判断 DI は、「悪化」超 14.3%と前期比 17pt 低下した。業種別にみると、製造業は「悪化」超 38.5%と同 23pt 低下し、非製造業は 0.0%と同 19pt 低下した。

〈県西地域〉

全産業の自社業況総合判断 DI は、「悪化」超 25.5%と前期比 21pt 低下した。業種別にみると、製造業は「悪化」超 19.0%と同 23pt 低下し、非製造業は「悪化」超 30.8%と同 18pt 低下した。

〈鹿行地域〉

全産業の自社業況総合判断 DI は、「悪化」超 31.6%と前期比 32pt 低下した。業種別にみると、製造業は「悪化」超 25.0%と同 25pt 低下し、非製造業は「悪化」超 42.9%と同 43pt 低下した。



4. 国内景気の動向 — 製造業で概ね横ばい、非製造業で 16pt 低下

全産業の国内景気判断 DI は、「好転」超 2.8と前期比 8pt 低下した。業種別にみると、製造業は前期から概ね横ばい、非製造業は前期比 16pt 低下した。先行き（2023年10～12月期）は、製造業で今期から 3pt 低下、非製造業で 5pt 低下する見通しとなっている。

国内景気判断 DI の推移

(前年同期比・%ポイント)

| | 2022 | | | 2023 | | | |
|------|--------|--------|---------|--------|-------|-------|-----------|
| | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期予測 |
| 全産業 | ▲ 15.7 | ▲ 27.1 | ▲ 23.0 | ▲ 9.7 | 10.7 | 2.8 | ▲ 1.4 |
| 製造業 | ▲ 19.8 | ▲ 18.0 | ▲ 16.9 | ▲ 13.1 | 0.0 | 2.2 | ▲ 1.1 |
| 非製造業 | ▲ 12.8 | ▲ 34.1 | ▲ 27.9 | ▲ 7.2 | 19.0 | 3.2 | ▲ 1.7 |

※国内景気判断 DI：「好転」回答企業割合－「悪化」回答企業割合

5. 企業経営

項目別判断DI (2023年4～6月期、7～9月期)

(前年同期比・%ポイント)

| | 売上・出荷 | | 生産 | | 受注 | | 在庫 | | 仕入価格 | | 販売価格 | | 経常利益 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 4～6月期 | 7～9月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 4～6月期 | 7～9月期 |
| 全産業 | 0.4 | ▲9.0 | - | - | - | - | - | - | 60.9 | 56.8 | 40.0 | 33.1 | ▲13.5 | ▲17.0 |
| 製造業 | 1.1 | ▲11.0 | ▲12.6 | ▲19.8 | ▲7.5 | ▲15.2 | 20.5 | 18.9 | 63.8 | 46.8 | 39.8 | 28.3 | ▲19.3 | ▲19.6 |
| 素材業種 | 10.0 | ▲57.1 | ▲20.0 | ▲71.4 | ▲20.0 | ▲85.7 | 20.0 | 28.6 | 70.0 | 42.8 | 60.0 | 42.8 | ▲30.0 | ▲57.1 |
| 加工業種 | ▲6.5 | ▲11.1 | ▲8.5 | ▲19.6 | ▲6.5 | ▲15.2 | 26.7 | 19.6 | 65.9 | 52.2 | 34.8 | 34.8 | ▲20.0 | ▲15.2 |
| その他業種 | 7.9 | ▲2.5 | ▲15.7 | ▲10.5 | ▲5.3 | ▲2.6 | 13.2 | 16.2 | 59.5 | 41.0 | 40.5 | 17.9 | ▲15.8 | ▲18.0 |
| 非製造業 | 0.0 | ▲7.6 | - | - | - | - | - | - | 58.5 | 64.5 | 40.2 | 37.0 | ▲9.0 | ▲15.0 |
| 建設業 | ▲11.1 | ▲14.8 | - | - | - | - | - | - | 63.3 | 67.8 | 43.3 | 39.3 | ▲23.3 | ▲17.8 |
| 卸売業 | ▲16.6 | 5.6 | - | - | - | - | - | - | 83.3 | 52.6 | 66.6 | 42.1 | ▲27.8 | ▲22.2 |
| 小売業 | 4.4 | ▲19.1 | - | - | - | - | - | - | 52.2 | 72.7 | 47.8 | 68.2 | 13.1 | ▲19.1 |
| 運輸・倉庫業 | 0.0 | ▲27.3 | - | - | - | - | - | - | 44.4 | 60.0 | 22.2 | 33.3 | ▲20.0 | ▲45.4 |
| その他業種 | 13.9 | 2.4 | - | - | - | - | - | - | 50.0 | 64.3 | 24.3 | 17.1 | 0.0 | 0.0 |

※仕入価格、販売価格は前期比

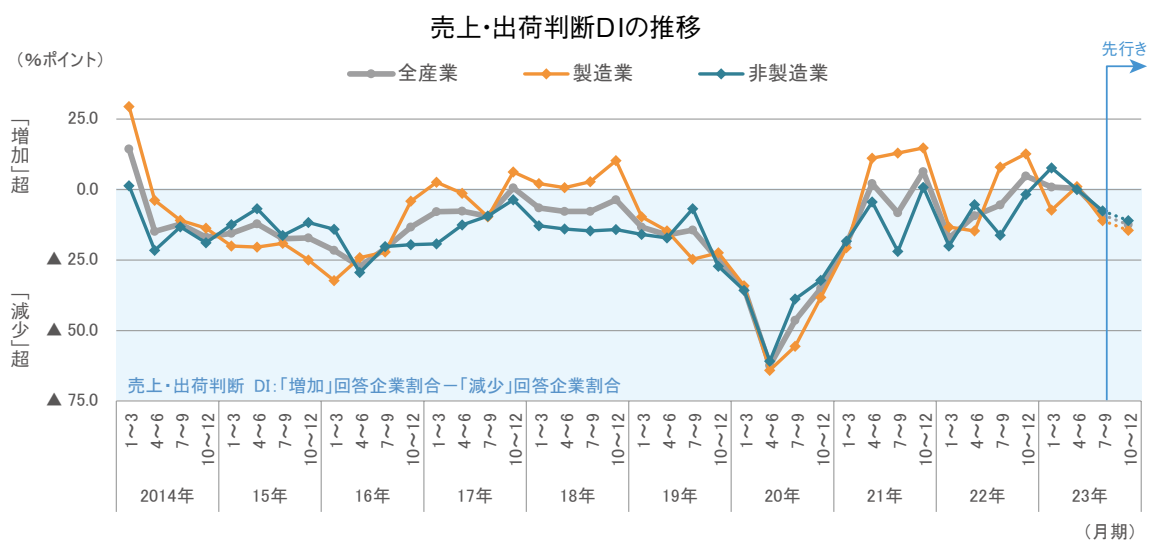
(1) 売上・出荷動向：売上・出荷判断DIは製造業で12pt低下、非製造業で8pt低下

売上・出荷判断DIは、全産業で「減少」超9.0%と前期比9pt低下した。

業種別にみると、製造業では「減少」超11.0%と同12pt低下した。企業からは「自動車関連の案件が止まったままの状態」(生産用機械)、「取引先の在庫調整で、引き続き受注が厳しい」(輸送用機械)など、供給制約の影響が残存しているとの声が聞かれる。また、「価格転嫁したところ販売数量が減少した」(食料品)といった声もあり、物価の上昇・高止まりを受けて価格転嫁をした結果、需要が減退してしまった、という企業も少なくなかったとみられる。

非製造業では「減少」超7.6%と、前期比8pt低下した。一部の企業からは、「新型コロナの5類移行後初めての夏なので、例年より早く予約が埋まった」(飲食・宿泊業)といった明るい声も聞かれたものの、「猛暑で好調な季節商品を除き購買意欲は低い」(小売業：家電)、「商品の値上げで需要が落ち込んだ」(卸売業：園芸用品)など、物価の上昇・高止まりを受けて、消費マインドが低迷したとの声が目立っている。また、「人員が減少し店休日を設けた」(飲食業)、「人手不足で予約を制限した」(ゴルフ場)など、売上機会の損失に繋がるほど人手不足が深刻との声も少なくなかった。

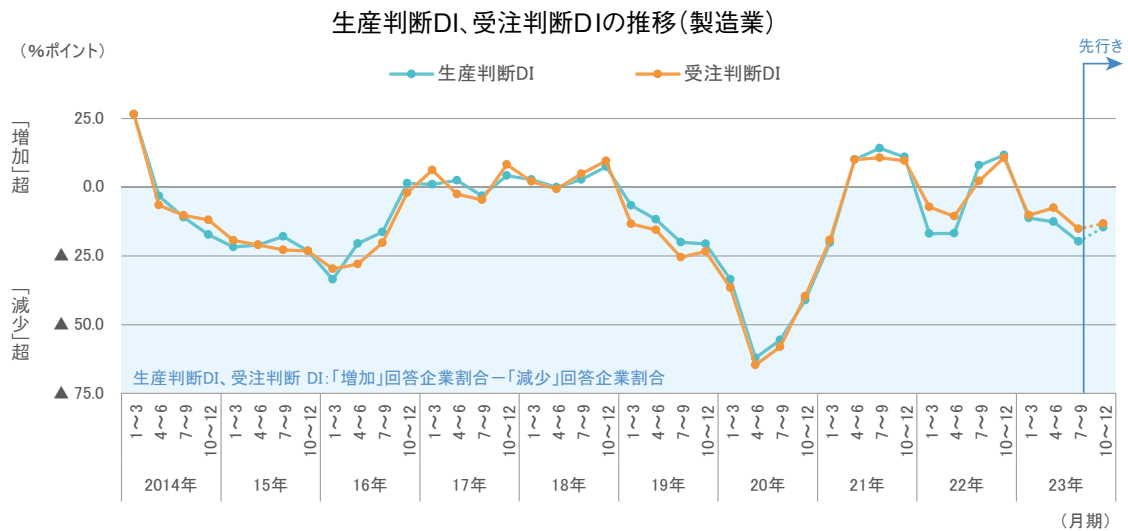
先行き(2023年10～12月期)は、全産業で「減少」超12.5%と今期から4pt低下し、業種別では、製造業が4pt低下、非製造業が3pt低下する見通しとなっている。



(2) 生産高、受注高：製造業の生産判断 DI は 7pt 低下、受注判断 DI は 8pt 低下

製造業の生産判断 DI は「減少」超 19.8%と前期比 7pt 低下し、受注判断 DI は「減少」超 15.2%と同 8pt 低下した。企業からは、「中国の景気悪化を受け、得意先からの受注が減少した」(電気機械)、「原材料価格の高騰を受け販売単価を引き上げたところ、受注量が減少傾向」(印刷)、「農業資材について、値上げ前の駆け込み需要の反動があり、足もとの受注が減少している」(化学)など、様々な理由から生産・受注が低迷したとの声が上がっている。

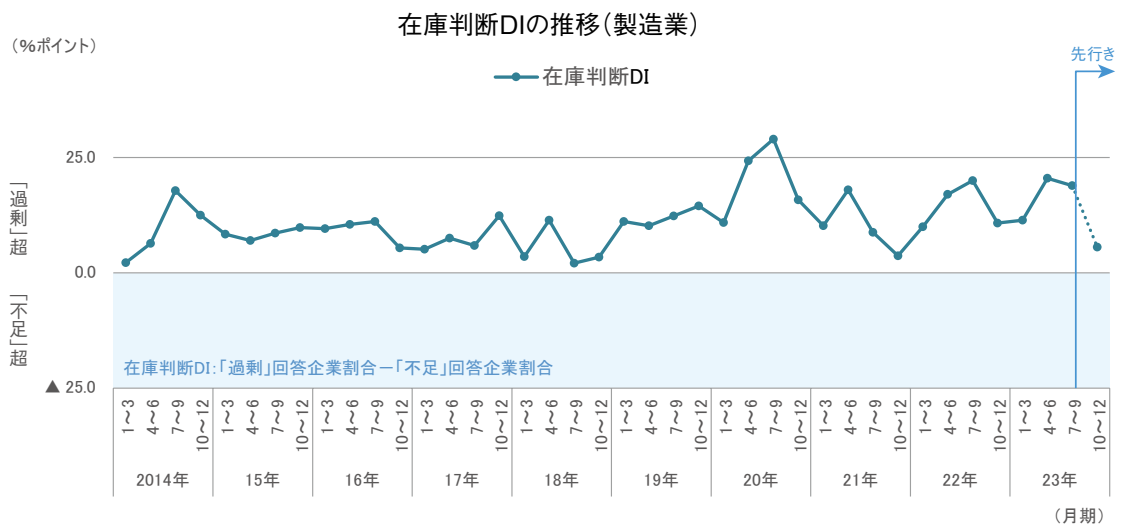
先行き（2023年10～12月期）は、生産判断 DI が「減少」超 14.6%と今期から 5pt 上昇し、受注判断 DI が「減少」超 13.2%と概ね横ばいとなる見通しである。もっとも、先行きについては海外情勢などの不確定要素が多いとの声も上がっており、引き続き注視が必要とみられる。



(3) 在庫水準：製造業の在庫判断 DI は概ね横ばい、先行きは 13pt 低下する見通し

製造業の在庫判断 DI は「過剰」超 18.9%と、前期から概ね横ばいだった。

先行き（2023年10～12月期）は、「過剰」超 5.6%と今期から 13pt 低下する見通しである。

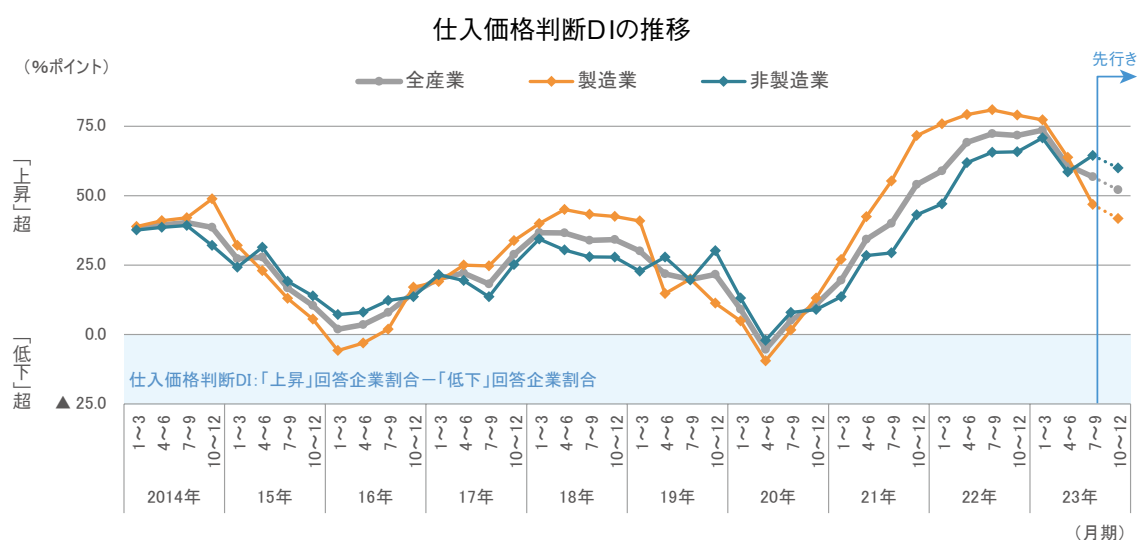


(4) 仕入・販売価格：仕入価格判断DIは製造業で17pt低下、非製造業で6pt上昇

〈仕入価格〉

仕入価格判断DIは、全産業で「上昇」超56.8%と、前期比4pt低下した。業種別にみると、製造業は同46.8%と前期比17pt低下（4期連続低下）し、非製造業は同64.5%と同6pt上昇（2期振り上昇）している。企業からは、「電気や原料などのコストが大幅に上昇」（食料品製造業）、「燃料費の高騰が続き経営が悪化」（運輸・倉庫業）など、仕入価格の上昇が続いているとの声のほか、「原材料価格は、更に上昇が見込まれるものと、高止まっているものがある」（食料品製造業）など、上昇が一段落した品目についても、価格の高止まりがみられるとの声が聞かれた。

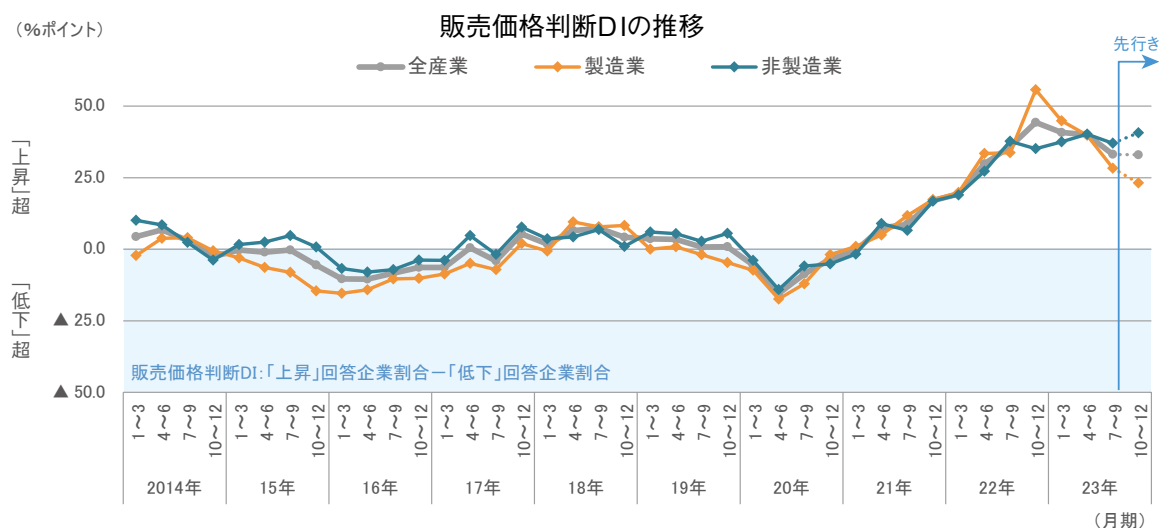
先行き（2023年10～12月期）は、全産業で「上昇」超52.1%と今期から5pt低下し、業種別では、製造業が同41.8%と5pt低下、非製造業が同60.0%と5pt低下する見通しである。



〈販売価格〉

販売価格判断DIは、全産業で「上昇」超33.1%と前期比7pt低下した。業種別にみると、製造業は同28.3%と12pt低下、非製造業は同37.0%と3pt低下している。

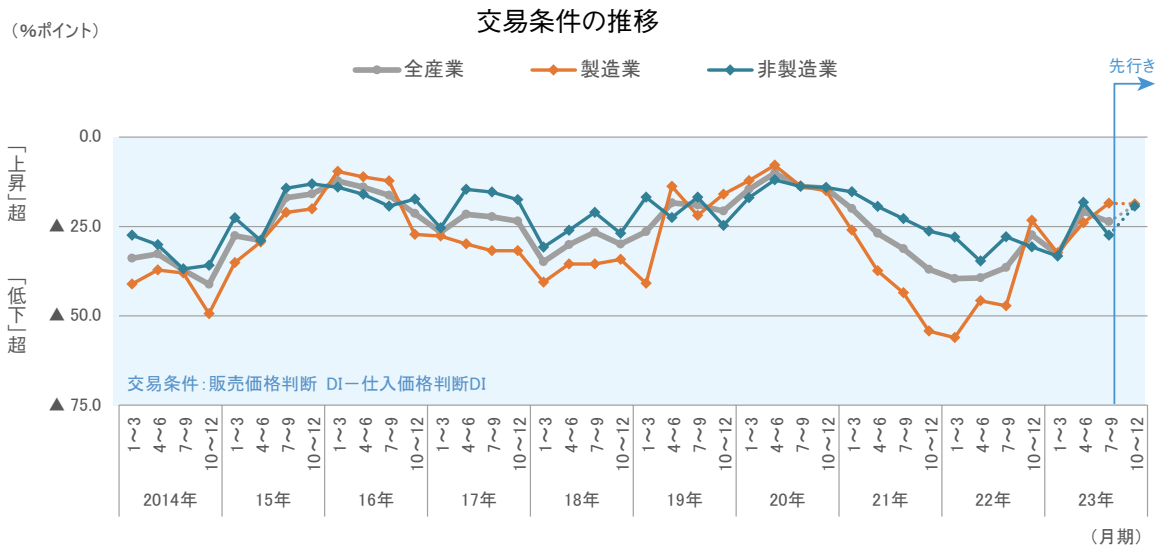
先行き（2023年10～12月期）は、全産業で「上昇」超33.0%と今期から横ばいとなり、業種別では、製造業が同23.1%と5pt低下、非製造業が同40.7%と4pt上昇する見通しである。



〈交易条件〉

販売価格判断 DI から仕入価格判断 DI を引いた交易条件は、全産業で▲ 23.7%と前期から概ね横ばいとなった。業種別にみると、製造業は▲ 18.5%と 6pt 上昇、非製造業は▲ 27.5%と 9pt 低下している。非製造業からは、「仕入価格上昇分を販売価格に転嫁したところ、売上が減少した」（小売業：服飾品）、「経費が増加しているものの、値上げに伴う買い控えの懸念から価格転嫁を進められない」（卸売業：種苗類）など、価格転嫁後の需要維持に課題があるとの声が聞かれた。

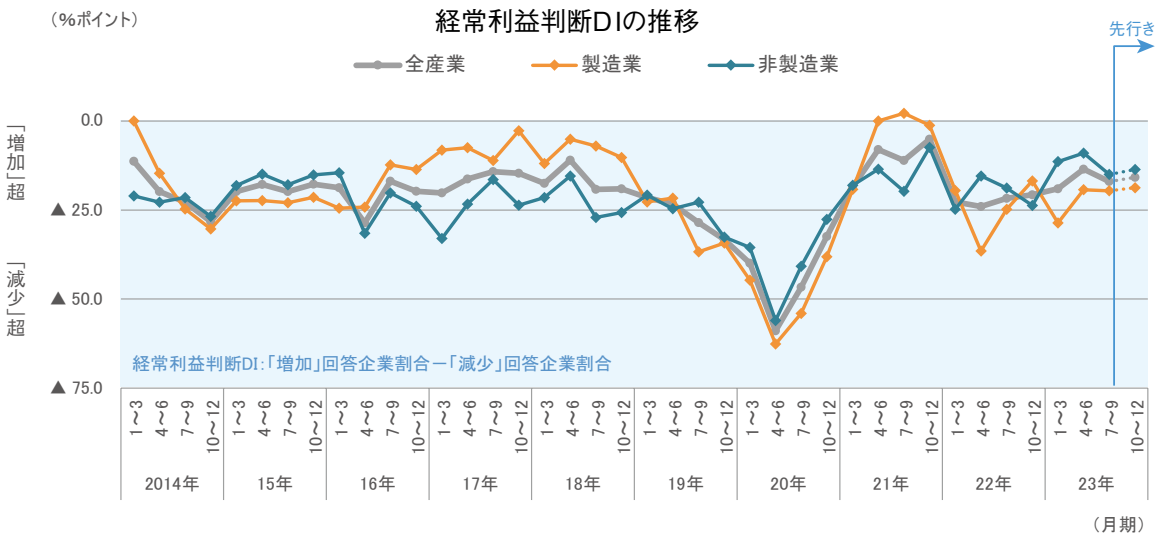
先行き（2023 年 10～12 月期）は、全産業で▲ 19.1%と今期から 5pt 上昇し、業種別では、製造業が▲ 18.7%と横ばい、非製造業が▲ 19.3%と 8pt 上昇する見通しである。



(5) 経常利益：経常利益判断 DI は製造業で横ばい、非製造業で 6pt 低下

経常利益判断 DI は、全産業で「減少」超 17.0%と前期比 4pt 低下した。業種別にみると、製造業は同 19.6%と横ばい、非製造業は同 15.0%と 6pt 低下している。

先行き（2023 年 10～12 月期）は、全産業で「減少」超 15.8%と今期から概ね横ばいとなり、業種別では、製造業は同 18.7%と横ばい、非製造業は同 13.6%と概ね横ばいの見通しである。



(6) 経営上の問題点：全産業で「売上・受注の停滞・減少」が2期振り1位

経営上の問題点は、全産業で「売上・受注の停滞・減少」が49.1%（前期比1.0pt上昇）と最も多く、次いで、「原材料（仕入）高」が41.0%（同0.3pt低下）、「人材難」が38.2%（同1.2pt上昇）、「人手不足求人難」が36.3%（同7.5pt低下）などとなった。

業種別にみると、製造業では「売上・受注の停滞・減少」が46.7%（同5.4pt上昇）と最も多く、次いで「原材料（仕入）高」が45.7%（同8.6pt低下）、「人手不足求人難」が30.4%（同2.1pt上昇）などとなった。「売上・受注の停滞・減少」が1位となるのは、2021年4～6月期以来、9期振り。

非製造業では、「売上・受注の停滞・減少」が50.8%（同2.6pt低下）と最も多く、次いで「人材難」が45.0%（同4.5pt上昇）、「人手不足求人難」が40.8%（同15.2pt低下）などとなった。なお、非製造業での低下を受けて、「人手不足求人難」は全産業で前期の2位から4位へと下落した。

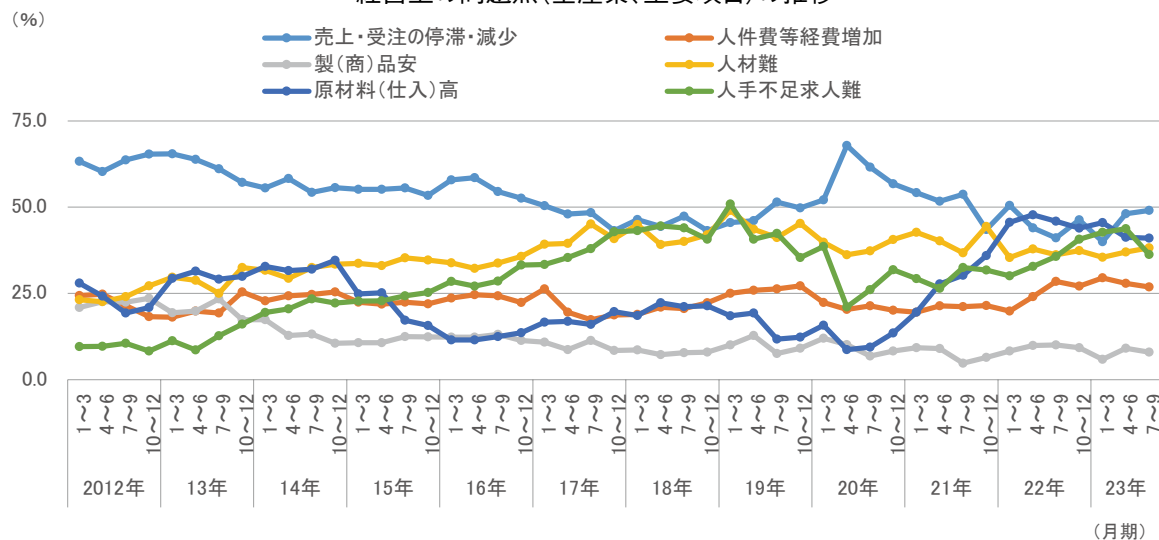
経営上の問題点（2023年7～9月期）

(%)

| | 売上・受注の停滞・減少 | 生産能力・設備能力不足 | 人件費等経費増加 | 合理化・省力化不足 | 資金不足・調達困難 | 資金繰り悪化 | 原材料（仕入）高 | 製（商）品安 | 人手不足求人難 | 人材難 | 過剰雇用 | 立地難 | 環境問題 | 後継者難 | その他 |
|--------|-------------|-------------|----------|-----------|-----------|--------|----------|--------|---------|------|------|-----|------|------|------|
| 全産業 | 49.1 | 5.7 | 26.9 | 14.2 | 4.2 | 3.8 | 41.0 | 8.0 | 36.3 | 38.2 | 1.4 | 1.4 | 0.5 | 4.7 | 3.3 |
| 製造業 | 46.7 | 8.7 | 22.8 | 18.5 | 2.2 | 5.4 | 45.7 | 13.0 | 30.4 | 29.3 | 2.2 | 0.0 | 1.1 | 3.3 | 4.3 |
| 素材業種 | 57.1 | 14.3 | 28.6 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 85.7 | 42.9 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 |
| 加工業種 | 50.0 | 13.0 | 19.6 | 26.1 | 2.2 | 4.3 | 39.1 | 8.7 | 34.8 | 32.6 | 0.0 | 0.0 | 2.2 | 2.2 | 8.7 |
| その他業種 | 41.0 | 2.6 | 25.6 | 10.3 | 2.6 | 7.7 | 46.2 | 12.8 | 30.8 | 28.2 | 5.1 | 0.0 | 0.0 | 2.6 | 0.0 |
| 非製造業 | 50.8 | 3.3 | 30.0 | 10.8 | 5.8 | 2.5 | 37.5 | 4.2 | 40.8 | 45.0 | 0.8 | 2.5 | 0.0 | 5.8 | 2.5 |
| 建設業 | 53.6 | 3.6 | 21.4 | 10.7 | 10.7 | 0.0 | 46.4 | 0.0 | 46.4 | 46.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.6 |
| 卸売業 | 55.6 | 5.6 | 22.2 | 5.6 | 0.0 | 0.0 | 38.9 | 22.2 | 38.9 | 38.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 5.6 |
| 小売業 | 63.6 | 0.0 | 36.4 | 9.1 | 4.5 | 4.5 | 45.5 | 4.5 | 27.3 | 36.4 | 0.0 | 9.1 | 0.0 | 13.6 | 0.0 |
| 運輸・倉庫業 | 60.0 | 10.0 | 50.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 30.0 | 0.0 | 30.0 | 40.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 |
| その他業種 | 38.1 | 2.4 | 31.0 | 14.3 | 4.8 | 2.4 | 28.6 | 0.0 | 47.6 | 52.4 | 2.4 | 2.4 | 0.0 | 2.4 | 0.0 |

※項目別回答数/回答企業数×100、太字は上位3項目

経営上の問題点(全産業、主要項目)の推移



6. 設備投資

(1) 2023年4～9月期の実績：計画比で製造業は16pt低下、非製造業は横ばい

設備投資実施割合は全産業で58.1%と、当初計画から概ね横ばい、前期（2022年10月～2023年3月期）実績（57.1%）から概ね横ばいとなった。投資内容をみると、「買替・更新」（36.7%）が最も多く、次いで「車両・運搬具等」（28.2%）、「新規の導入」（23.7%）などとなっている。

業種別にみると、製造業では実施割合が57.0%と当初計画（61.0%）から4pt低下し、前期実績（61.0%）から4pt低下した。投資内容をみると、「買替・更新」（39.1%）が最も多く、次いで「新規の導入」（32.6%）、「車両・運搬具等」（17.4%）などとなっている。

非製造業では実施割合が58.9%と当初計画（60.3%）から概ね横ばい、前期実績（54.0%）から5pt上昇した。投資内容をみると、「車両・運搬具等」（36.4%）が最も多く、次いで「買替・更新」（35.0%）、「新規の導入」（17.1%）などとなっている。

設備投資の実績（2023年4～9月期）

(%)

| | (当初計画) | 実 績 | 新規の導入 | 買替・更新 | 工場の新・増設 | 改装・改築 | 用地取得 | 車両・運搬具等 |
|--------|--------|------|-------|-------|---------|-------|------|---------|
| 全産業 | 60.6 | 58.1 | 23.7 | 36.7 | 6.5 | 12.6 | 2.4 | 28.2 |
| 製造業 | 61.0 | 57.0 | 32.6 | 39.1 | 3.3 | 8.7 | 0.0 | 17.4 |
| 素材業種 | 50.0 | 71.4 | 14.3 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 28.6 |
| 加工業種 | 63.0 | 57.4 | 34.0 | 40.4 | 2.1 | 4.3 | 0.0 | 12.8 |
| その他業種 | 60.9 | 53.8 | 34.2 | 39.5 | 5.3 | 15.8 | 0.0 | 21.1 |
| 非製造業 | 60.3 | 58.9 | 17.1 | 35.0 | 8.9 | 15.6 | 4.2 | 36.4 |
| 建設業 | 55.2 | 60.7 | 7.1 | 14.3 | 10.7 | 14.3 | 7.1 | 50.0 |
| 卸売業 | 73.7 | 63.2 | 21.1 | 36.8 | 10.5 | 5.6 | 5.6 | 50.0 |
| 小売業 | 56.0 | 56.5 | 27.3 | 45.5 | 13.6 | 31.8 | 4.8 | 31.8 |
| 運輸・倉庫業 | 60.0 | 54.5 | 9.1 | 27.3 | 0.0 | 9.1 | 0.0 | 45.5 |
| その他業種 | 60.5 | 58.1 | 18.6 | 44.2 | 7.0 | 14.0 | 2.4 | 21.4 |

※項目別回答数/回答企業数×100

(2) 2023年10月～2024年3月期の計画：「計画あり」は全産業で概ね横ばいの見通し

先行き（2023年10月～2024年3月期）の「計画あり」の割合は、全産業で59.9%と、今期実績から概ね横ばいの見通しである。計画内容は「買替・更新」（36.3%）が最も多く、次いで「車両・運搬具等」（29.6%）、「新規の導入」（20.9%）などとなっている。

業種別にみると、製造業では「計画あり」が58.1%と、今期実績から概ね横ばいの見通しである。計画内容は「買替・更新」（41.3%）が最も多く、次いで「新規の導入」（31.5%）、「車両・運搬具等」（15.2%）などとなっている。

非製造業では「計画あり」が61.3%と、今期実績から概ね横ばいの見通しである。計画内容は「車両・運搬具等」（40.5%）が最も多く、次いで「買替・更新」（32.5%）、「改装・改築」（19.7%）などとなっている。

設備投資の計画（2023年10月～2024年3月期）

(%)

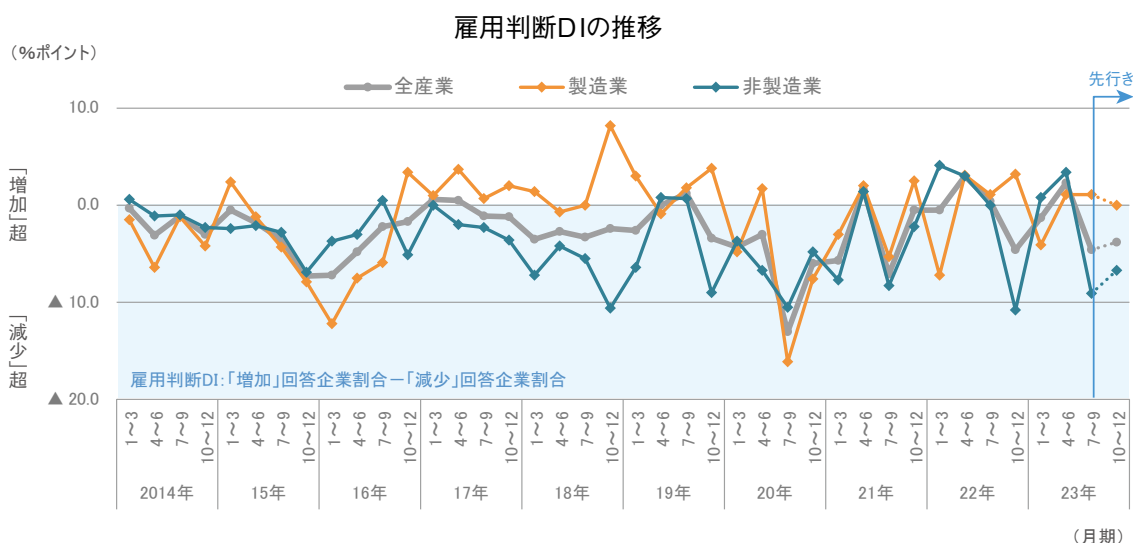
| | 計画あり | 今回実績比 | 新規の導入 | 買替・更新 | 工場の新・増設 | 改装・改築 | 用地取得 | 車両・運搬具等 |
|--------|------|-------|-------|-------|---------|-------|------|---------|
| 全産業 | 59.9 | 1.8 | 20.9 | 36.3 | 10.7 | 16.4 | 3.3 | 29.6 |
| 製造業 | 58.1 | 1.1 | 31.5 | 41.3 | 5.4 | 12.0 | 0.0 | 15.2 |
| 素材業種 | 42.9 | ▲28.6 | 0.0 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 加工業種 | 66.0 | 8.5 | 36.2 | 44.7 | 4.3 | 12.8 | 0.0 | 19.1 |
| その他業種 | 51.3 | ▲2.6 | 31.6 | 36.8 | 7.9 | 13.2 | 0.0 | 13.2 |
| 非製造業 | 61.3 | 2.4 | 13.0 | 32.5 | 14.6 | 19.7 | 5.8 | 40.5 |
| 建設業 | 60.7 | 0.0 | 3.6 | 14.3 | 3.6 | 14.3 | 3.7 | 53.6 |
| 卸売業 | 68.4 | 5.3 | 21.1 | 42.1 | 26.3 | 5.6 | 5.6 | 55.6 |
| 小売業 | 56.5 | 0.0 | 18.2 | 40.9 | 13.6 | 31.8 | 9.1 | 40.9 |
| 運輸・倉庫業 | 63.6 | 9.1 | 18.2 | 27.3 | 18.2 | 18.2 | 0.0 | 45.5 |
| その他業種 | 60.5 | 2.3 | 11.6 | 37.2 | 16.3 | 23.3 | 7.0 | 23.8 |

※項目別回答数/回答企業数×100

7. 雇用 — 製造業で横ばい、非製造業で 13pt 低下

雇用判断 DI は、全産業で「減少」超 4.6%と前期（「増加」超 2.3%）から 7pt 低下した。業種別にみると、製造業は「増加」超 1.1%と横ばい、非製造業は「減少」超 9.1%と 13pt 低下している。一部の企業からは、「人員減のため一部店舗で店休日を設けた」（飲食業）、「従業員が足りず予約を制限した」（娯楽施設）、「人材の流動化（離職）が進んだことなどから、経営が困窮している」（製造業：電気機械）など、人手不足が経営に悪影響しているとの声も聞かれた。

先行き（2023年10～12月期）は、全産業で「減少」超 3.8%と今期から横ばいとなり、業種別では、製造業が 0.0%と概ね横ばい、非製造業が「減少」超 6.7%と概ね横ばいの見通し。



8. 企業金融

(1) 資金繰り状況：前期実績比で製造業は横ばい、非製造業は 7pt 低下

資金繰り DI を業種別にみると、製造業では「苦しくなった」超 6.5%と、前回予測（同 3.3%）を 3pt 下回り、前期実績（同 6.5%）から横ばいとなった。非製造業では同 9.9%と、前回予測（同 4.1%）を 6pt 下回り、前期実績（同 2.5%）から 7pt 低下した。なお、製造業・非製造業とも、8割超は前期から「変わらない」と回答している。

先行き（2023年10～12月期）は、製造業が「苦しくなる」超 4.4%と今期から概ね横ばい、非製造業が同 10.1%と横ばいとなる見通しである。

資金繰り DI の推移

(前期比・%ポイント)

| | | 2020 | | | 2021 | | | | 2022 | | | | 2023 | | | | |
|------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|------|-----------|
| | | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 前回予測 | 10～12月期予測 |
| 製造業 | DI | ▲27.0 | ▲19.4 | ▲11.4 | ▲4.1 | ▲6.0 | ▲5.3 | ▲4.9 | ▲7.2 | ▲11.7 | ▲11.2 | ▲12.6 | ▲11.3 | ▲6.5 | ▲6.5 | ▲3.3 | ▲4.4 |
| | 楽 | 0.9 | 6.5 | 5.7 | 6.1 | 6.0 | 6.5 | 7.4 | 4.8 | 6.4 | 3.4 | 2.1 | 3.1 | 3.2 | 6.5 | 5.4 | 6.6 |
| | 変わらない | 71.2 | 65.3 | 77.1 | 83.7 | 82.0 | 81.7 | 80.2 | 83.1 | 75.5 | 82.0 | 83.2 | 82.5 | 87.1 | 80.4 | 85.9 | 82.4 |
| | 苦 | 27.9 | 25.8 | 17.1 | 10.2 | 12.0 | 11.8 | 12.3 | 12.0 | 18.1 | 14.6 | 14.7 | 14.4 | 9.7 | 13.0 | 8.7 | 11.0 |
| 非製造業 | DI | ▲17.9 | ▲11.8 | ▲8.4 | ▲4.7 | ▲6.3 | ▲2.8 | 2.3 | ▲3.2 | 2.9 | ▲4.2 | ▲2.5 | ▲4.8 | ▲2.5 | ▲9.9 | ▲4.1 | ▲10.1 |
| | 楽 | 4.0 | 4.6 | 8.5 | 7.0 | 6.3 | 6.9 | 10.4 | 7.2 | 10.0 | 5.0 | 7.4 | 7.3 | 5.8 | 5.0 | 4.2 | 6.8 |
| | 変わらない | 74.2 | 77.0 | 74.6 | 81.3 | 81.1 | 83.3 | 81.5 | 82.4 | 82.9 | 85.8 | 82.6 | 80.6 | 86.0 | 80.2 | 87.5 | 76.3 |
| | 苦 | 21.9 | 16.4 | 16.9 | 11.7 | 12.6 | 9.7 | 8.1 | 10.4 | 7.1 | 9.2 | 9.9 | 12.1 | 8.3 | 14.9 | 8.3 | 16.9 |

(2) 資金繰り上の問題点：製造業・非製造業とも「売上減少・伸び悩み」が1位

資金繰り上の問題点は、全産業で「売上減少・伸び悩み」が58.9%（前期比7.8pt上昇）と最も多く、「設備資金増加」が27.4%（同3.8pt低下）、「採算悪化」が22.1%（同2.2pt上昇）と続いた。

業種別にみると、製造業では「売上減少・伸び悩み」が56.6%（同9.5pt上昇）と最も多く、「設備資金増加」が31.3%（同2.8pt低下）、「採算悪化」が27.7%（同5.3pt上昇）と続いた。

非製造業では「売上減少・伸び悩み」が60.7%（同6.2pt上昇）と最も多く、「設備資金増加」が24.3%（同4.4pt低下）、「運転資金増加」が18.7%（同1.9pt上昇）と続いた。

資金繰り上の問題点（2023年7～9月期）

(%)

| | 設備資金増加 | 運転資金増加 | 回収サイト長期化 | 支払サイト短縮 | 資金調達困難 | 在庫過剰 | 売上減少・伸び悩み | 採算悪化 | 在庫の積み増し | 既往借入金返済負担 | 借入枠に余裕なし | 季節資金の増大 | その他 |
|--------|--------|--------|----------|---------|--------|------|-----------|------|---------|-----------|----------|---------|------|
| 全産業 | 27.4 | 21.6 | 3.7 | 5.3 | 2.6 | 8.9 | 58.9 | 22.1 | 3.2 | 9.5 | 4.2 | 2.1 | 7.9 |
| 製造業 | 31.3 | 25.3 | 0.0 | 2.4 | 2.4 | 15.7 | 56.6 | 27.7 | 6.0 | 10.8 | 2.4 | 1.2 | 3.6 |
| 素材業種 | 28.6 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 28.6 | 71.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 加工業種 | 28.6 | 23.8 | 0.0 | 4.8 | 2.4 | 14.3 | 54.8 | 19.0 | 9.5 | 16.7 | 2.4 | 2.4 | 7.1 |
| その他業種 | 35.3 | 23.5 | 0.0 | 0.0 | 2.9 | 14.7 | 55.9 | 44.1 | 2.9 | 5.9 | 2.9 | 0.0 | 0.0 |
| 非製造業 | 24.3 | 18.7 | 6.5 | 7.5 | 2.8 | 3.7 | 60.7 | 17.8 | 0.9 | 8.4 | 5.6 | 2.8 | 11.2 |
| 建設業 | 16.7 | 29.2 | 8.3 | 4.2 | 8.3 | 4.2 | 58.3 | 20.8 | 0.0 | 0.0 | 4.2 | 4.2 | 12.5 |
| 卸売業 | 26.3 | 21.1 | 10.5 | 10.5 | 0.0 | 5.3 | 52.6 | 26.3 | 5.3 | 5.3 | 0.0 | 0.0 | 15.8 |
| 小売業 | 40.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 0.0 | 5.0 | 65.0 | 10.0 | 0.0 | 15.0 | 10.0 | 0.0 | 5.0 |
| 運輸・倉庫業 | 30.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 80.0 | 10.0 | 0.0 | 10.0 | 10.0 | 0.0 | 10.0 |
| その他業種 | 17.6 | 14.7 | 2.9 | 8.8 | 2.9 | 2.9 | 58.8 | 17.6 | 0.0 | 11.8 | 5.9 | 5.9 | 11.8 |

※項目別回答数/回答企業数×100、太字は上位3項目

(3) 資金調達：製造業・非製造業とも「変わらない」が9割

借入難易度判断DIを業種別にみると、長期資金は製造業・非製造業ともに難化した。短期資金についても、製造業・非製造業ともに難化した。先行きは、長期資金は製造業で易化・非製造業で難化、短期資金は製造業で易化・非製造業で難化の見通しとなっている。

借入難易度判断DIの推移

(前期比・%ポイント)

| | | 2020 | | | | 2021 | | | | 2022 | | | | 2023 | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|------|------|
| | | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | | |
| | | 月期 | 月期 | 月期 | 月期 | 月期 | 月期 | 月期 | 月期 | 月期 | 月期 | 月期 | 月期 | 月期 | 月期 | 月期 | | |
| 長期資金 | 製造業 | DI | ▲11.9 | ▲6.5 | ▲7.8 | ▲1.0 | ▲4.1 | ▲5.4 | ▲3.8 | ▲7.4 | ▲2.2 | ▲3.5 | ▲3.2 | ▲3.1 | ▲2.1 | ▲4.6 | ▲1.1 | ▲2.4 |
| | 楽 | 2.8 | 4.0 | 2.9 | 2.1 | 2.0 | 2.2 | 3.8 | 0.0 | 3.2 | 4.5 | 2.2 | 2.1 | 2.2 | 2.3 | 3.3 | 2.3 | |
| | 変わらない | 82.6 | 80.6 | 86.4 | 94.8 | 91.8 | 90.2 | 88.6 | 92.6 | 91.4 | 87.5 | 92.5 | 92.7 | 93.5 | 90.8 | 92.3 | 93.0 | |
| | 苦 | 14.7 | 10.5 | 10.7 | 3.1 | 6.1 | 7.6 | 7.6 | 7.4 | 5.4 | 8.0 | 5.4 | 5.2 | 4.3 | 6.9 | 4.4 | 4.7 | |
| | 非製造業 | DI | ▲4.2 | ▲3.3 | ▲3.3 | 5.7 | ▲0.7 | ▲2.1 | 3.9 | 2.6 | 2.2 | 0.9 | ▲0.8 | 0.0 | ▲2.6 | ▲5.0 | ▲3.5 | ▲5.9 |
| | 楽 | 7.6 | 4.6 | 5.6 | 12.2 | 5.3 | 5.1 | 7.8 | 6.8 | 6.7 | 5.1 | 6.0 | 4.9 | 3.5 | 3.3 | 1.8 | 2.6 | |
| 変わらない | 80.6 | 80.9 | 85.5 | 81.3 | 88.7 | 87.7 | 88.4 | 89.0 | 88.8 | 90.7 | 87.2 | 90.2 | 90.4 | 88.4 | 93.0 | 88.9 | | |
| 苦 | 11.8 | 7.9 | 8.9 | 6.5 | 6.0 | 7.2 | 3.9 | 4.2 | 4.5 | 4.2 | 6.8 | 4.9 | 6.1 | 8.3 | 5.3 | 8.5 | | |
| 短期資金 | 製造業 | DI | ▲12.9 | ▲5.6 | ▲6.8 | 0.0 | ▲2.0 | ▲3.2 | ▲3.9 | ▲6.2 | ▲1.1 | ▲1.2 | ▲2.2 | ▲1.0 | ▲1.1 | ▲3.5 | 1.1 | ▲1.2 |
| | 楽 | 1.9 | 4.0 | 2.9 | 3.1 | 3.1 | 3.3 | 3.8 | 0.0 | 4.3 | 4.5 | 3.2 | 2.1 | 2.2 | 3.4 | 3.3 | 3.5 | |
| | 変わらない | 83.3 | 81.5 | 87.4 | 93.8 | 91.8 | 90.2 | 88.5 | 93.8 | 90.3 | 89.8 | 91.4 | 94.8 | 94.6 | 89.7 | 94.4 | 91.9 | |
| | 苦 | 14.8 | 9.7 | 9.7 | 3.1 | 5.1 | 6.5 | 7.7 | 6.2 | 5.4 | 5.7 | 5.4 | 3.1 | 3.3 | 6.9 | 2.2 | 4.7 | |
| | 非製造業 | DI | ▲5.7 | ▲4.6 | ▲4.9 | 3.3 | 0.0 | ▲0.7 | 5.5 | 2.5 | 3.0 | 0.9 | 0.9 | 0.8 | ▲3.5 | ▲4.2 | ▲3.5 | ▲6.0 |
| | 楽 | 6.3 | 2.6 | 4.8 | 10.6 | 5.3 | 4.4 | 7.8 | 5.9 | 6.8 | 5.2 | 6.1 | 4.1 | 2.6 | 3.3 | 1.8 | 2.6 | |
| 変わらない | 81.7 | 83.6 | 85.5 | 82.1 | 89.5 | 90.5 | 89.9 | 90.8 | 89.5 | 90.5 | 88.7 | 92.6 | 91.2 | 89.2 | 92.9 | 88.8 | | |
| 苦 | 12.0 | 7.2 | 9.7 | 7.3 | 5.3 | 5.1 | 2.3 | 3.4 | 3.8 | 4.3 | 5.2 | 3.3 | 6.1 | 7.5 | 5.3 | 8.6 | | |

〈業種・規模別回答社数〉

| | 回答社数 | 企業規模（従業員数）別 | | | | |
|--------|------|-------------|--------|----------|--------|----|
| | | 30人未満 | 30～99人 | 100～299人 | 300人以上 | 不明 |
| 全産業 | 217 | 70 | 79 | 39 | 29 | 0 |
| 製造業 | 93 | 26 | 36 | 20 | 11 | 0 |
| 素材業種 | 7 | 1 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 加工業種 | 47 | 12 | 20 | 13 | 2 | 0 |
| その他業種 | 39 | 13 | 13 | 5 | 8 | 0 |
| 非製造業 | 124 | 44 | 43 | 19 | 18 | 0 |
| 建設業 | 28 | 13 | 10 | 4 | 1 | 0 |
| 卸売業 | 19 | 4 | 12 | 1 | 2 | 0 |
| 小売業 | 23 | 12 | 2 | 3 | 6 | 0 |
| 運輸・倉庫業 | 11 | 4 | 6 | 0 | 1 | 0 |
| その他業種 | 43 | 11 | 13 | 11 | 8 | 0 |

※ 2022年10～12月期調査より、非製造業のうち「サービス業他」としていた分類名を「その他業種」に変更した。なお、含まれる業種の内訳に変更はない。

各業種内の構成

| | | |
|------------------|---------------|--------------------------------------|
| 製 材 業 種 | パルプ・紙 | 包装・梱包紙、事務用紙など |
| | 化学 | 容器、フィルム、医薬、塗料、機能化学品、建設材料、電子材料など |
| | 鉄鋼 | 鉄筋、鋼管、製鋼原料、自動車用原料など |
| | その他 | 非鉄金属（銅、アルミ部品）、繊維（寝具、婦人服、紳士服）、石油・石炭など |
| 加 工 業 種 | 金属製品 | 機械器具、工具、住宅資材、食品容器、金型、鉄骨など |
| | はん用・生産用・業務用機械 | 工作機械、土木機械、事務機械、産業機械など |
| | 電気機械 | 重電、電子機器、自動車用電気機械、家電、通信機器など |
| | 輸送機械 | 乗用車関連、貨物関連など |
| 業 種 | 食料 | 飲料、麺、肉、水産加工品、酒、惣菜、納豆、農産加工品など |
| | 木材・木製品 | 木材など |
| | 窯業・土石 | コンクリート、石材、墓石、建材、砕石など |
| | その他製造業 | 印刷など |
| 非 製 造 業 | 建設業 | 建築、土木など |
| | 卸売業 | 食料品、青果、水産物、産業用機材（運輸機材、包装資材、電設資材）など |
| | 小売業 | 総合小売、自動車ディーラー、食品、衣料、燃料、宝飾、家具など |
| | 運輸・倉庫業 | 物流、旅客など |
| | その他業種 | 宿泊・飲食、医療・福祉、測量、情報処理、不動産、リース、人材など |